

# ペットの 災害への備え



災害は突然起こります。  
ペットと一緒に避難できるように、  
準備をしておきましょう。



監修：(公社)東京都獣医師会中野支部

## 災害が起こったら

災害時には人間同様、ペットも避難が必要となる場合があります。中野区では下記条件のもとすべての避難所でペットの受け入れをしていますが、自宅が安全でかつ定期的に世話をしに戻ることができれば、避難所に連れて行かないことも選択肢の一つです。

- 飼い主が自宅での飼育が困難になった場合
- 受け入れ動物は、小動物(犬、猫、小鳥等)のみ
- ペットフード、ケージ、トイレ、常備薬、その他ペットの飼育に必要な物資は飼い主が準備すること
- 受け入れ場所は、原則として一般の避難者スペースと分離した場所に設置する

## 同行避難と同伴避難の違い

- 同行避難とは・・・  
災害発生時に飼い主がペットとともに「危険な場所」から「安全な場所」に避難する「避難行動」のことを示す言葉。  
「安全な場所」は、避難所とは限りません。
- 同伴避難とは・・・  
被災者が、避難所(避難した場所)で(周りの環境などに配慮しながら)ペットを飼育管理することを示す言葉。避難しても同室で過ごせるとは限りません。

## 避難所での過ごし方



●ペットの世話は、飼い主自身(あるいは飼い主のグループ)が行う必要があります。避難所での生活は、ペットも不安を感じる可能性が高いため、必要なものを事前に準備し、ペットの体調に気を配りましょう。また、飼い主同士が協力しあうことも重要です。

●原則、飼い主とペットは離れた場所で生活することになります。飼い主が生活するスペースにペットを持ち込むことはできません。



●避難所では様々な人がおり、動物アレルギーをもっている人や、動物が苦手な人もいます。不快感や不安感を与えないように注意しましょう。

震災時の行動を学ぶ  
「中野区避難所運営マニュアル」もあわせてご確認ください！



## 日ごろの備えと健康管理

### しつけ

避難所では動物が苦手な方や、アレルギーを持っている方もいます。緊急時に安全に避難できるよう、基本的なしつけをしておきましょう。

- ケージやキャリーバックに嫌がらずに入る
- 首輪やハーネスを嫌がらない
- トイレを決められた場所でする
- 無駄に鳴かない
- 犬の場合は「待て」「おすわり」等ができる

### 健康管理

避難所では、他の人や動物と接触する可能性があります。災害時にも安心して過ごすことができるよう、日ごろからペットの清潔・健康を保ちましょう。

- 各種ワクチン接種
- 犬の場合は狂犬病予防注射の接種
- 寄生虫(ノミやダニ等)の予防
- 必要に応じて不妊・去勢手術の実施

### 身元表示

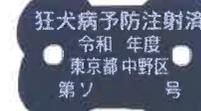
災害時には、飼い主とペットが離れ離れになる可能性があります。飼い主の元に戻れるよう、首輪には鑑札、注射済票、迷子札を装着しましょう。また、マイクロチップを装着・登録すると、首輪が外れた場合でも飼い主情報が分かるため、飼い主の元に戻ってくる可能性が高くなります。

### 防災用品の準備

避難所では、ペットフード等の備蓄はありません。飼育に必要なものは、飼い主自身が準備する必要があります。

- 常備薬、療養食
- 普段食べているフード、水(5日分以上)
- ペット用食器類
- トイレ用品(トイレシートや猫砂)
- ケージ、キャリーバック
- リードや首輪
- 毛布やブランケット
- お気に入りのおもちゃ
- ガムテープ
- ビニール袋
- ペットの写真
- 飼い主の連絡先、ペットの情報

鑑札と注射済票は、首輪やハーネスに装着しましょう！



# 獣医師会加入動物病院マップ

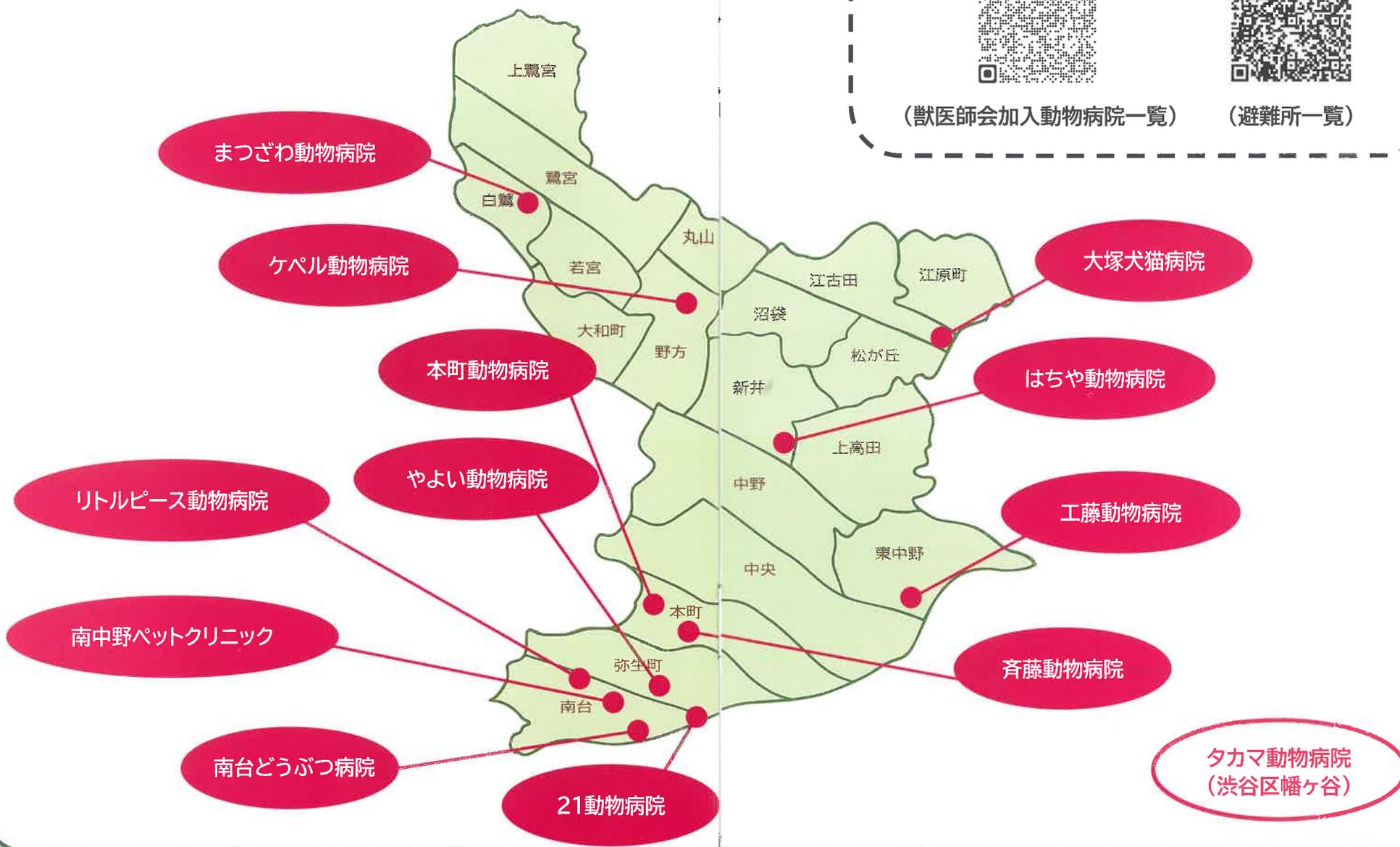
※マップは令和7年12月末時点の情報です。  
最新情報は下記二次元コードからご確認ください。



(獣医師会加入動物病院一覧)



(避難所一覧)



## ペットの情報

ペットの写真を  
貼りましょう！



全身が写っていて、  
模様や体毛の色など、  
特徴がわかるものが  
おすすめです。

●名前

●種類

犬・猫・その他( )

●性別

●年齢

●毛色

●体重

●不妊・去勢手術

未手術・手術済

●マイクロチップの装着の有無  
有（マイクロチップ番号：

)・無

## 飼い主の情報

●氏名

●住所

●電話番号

●メールアドレス

●飼い主と連絡が  
とれない場合の連絡先